

## 第15回 通常総会記録

日時 昭和59年6月9日 午後1時30分

場所 富山県農協会館

昭和58年度の事業の終了にあたり、ここに事業の概要ならびに決算関係諸表についてご報告申し上げます。

本研究会は、創立以来15年を迎え、その間、会員各位の絶え間ない努力によりまして成果を上げ、わが国の農村医学研究の一つの中核として認められるようになりました。この研究会の発展のため、富山県、県農協連より絶大なご援助をいただき、厚く感謝いたします。

本年度は、前年に引き続き農村の地域環境に応じて各種の調査研究を行ってきました。本研究会発足当時を顧りみまして、農村における労働形態、さらに生活状況、社会環境の変貌著しく、ことに機械化の普遍化、また、農薬使用も健康問題に色々の変化をきたし、これに関しての研究を続けてきました。他方、昨年老人保健法が施行され、成人病に対する健康管理に配慮が加えられたもの一般の関心は乏しく、その受診率は富山県においては、46%にすぎず、本研究会も「プライマリ・ヘルスケア」の観点から各地域においてその啓蒙、健康指導につとめ、受診率の向上に資してきました。ことに人口の高齢化に伴い、その点にも重点を指向し種々の調査研究を進めてきました。ことに本年度の事業として特筆すべきものは、研究集会の開催でありまして、農村保健に関する諸問題が発表され、意見の交換も活発に行われ、今後の調査研究に資する所大でありました。

以上のごとく農村保健の色々の面において、一応の成果を上げたものと信じております。

本研究会は、記念すべき15周年を迎えたのでありますが、次年度も“健康な村づくり”の推進のため会員各位のご理解とご努力とご協力をお願いいたしますのであります。

### 議事の概要

会員総数	150名	うち出席者67名	委任状82名
会長挨拶	豊田文一		
議長選出	厚生連高岡病院副院長 大沢 汎		
議事録署名者	高岡市 前田 敏	富山市 柳井道之	
書記	西田利紀夫 辻 純雄		
議 事	第1号議案	昭和58年度事業報告書、財産目録、収支決算報告承認について	
	第2号議案	昭和59年度事業計画及び収支予算案承認について	
	第3号議案	役員の一部改選について	
	第4号議案	顧問の一部変更承認について	

特別講演 元中南米領事 杉田敏次氏

演 題 「南米の農村と医療の現状」

## 第2回富山県農村医学研究および健康管理活動発表集会記録

日時：昭和60年2月9日

場所：厚生連高岡病院講堂

昨年から開催された、本会の研究発表集会。第2回目の今年度は、昭和60年2月9日、厚生連高岡病院にて、発表演題15題、参加約100名でおこなわれ、活発な討論がおこなわれました。

なお、発表演題名は下記の通りです。

### プログラム

1. 会長挨拶 (13:20~)

2. 会員発表 (13:30~ 発表時間10分 討論4分)

(座長 富山保健所長 中川秀幸 13:30~)

1. 妊婦貧血教室における食事情報

富山県福野保健所

中田慶子 小西鉄作 藍口陽子  
○東海幸子 嶋田潤子

2. 富山県農村における乳児保育調査について

厚生連高岡病院 健康管理課

○森内尋子 長田直美 豊田文一

3. 八尾町周辺地区における食生活調査について

八尾町農協

館遼子 杉本和子

北川内科クリニック

○北川鉄人 五百崎尋美 森万佐美

4. 一老人病院における給食実態調査

医療法人 新川病院

○飛世栄子 本吉稔 永崎みのる子  
越山健二 高本富子 平井美枝

(座長 城端厚生病院長 寺西正昭 14:26~)

5. 農薬の健康に対する慢性影響

富山医薬大学保健医学教室

○水野正明 新井田修久 沼田正浩  
本藤徹 前澤靖久 牧本充生  
丸山晋吾 三崎究 水谷文彦  
松井岳仁 渡辺正男

6. 肝胆道系酵素異常の出現頻度に関する一般農家、果樹園栽培農家および漁家での比較研究

富山医薬大学公衆衛生学教室

○岩田孝吉 寺西秀豊 加須屋実  
長谷川登 高木茂 木津信子

厚生連高岡病院健康管理課

7. 検診におけるLDH値の変動について

厚生連滑川病院臨床検査科

○土井彰 飯田浩 水野俊郎  
打田論

(座長 厚生連滑川病院長 小川忠邦 15:08~)

8. 当病院における夜間婦人科検診5年間の成績

城端厚生病院

○松井 亮 寺中正昭 山秋義人  
杉山春美 竹本よしの

9. 胃検診における撮影法の検討

厚生連総合検診センター

○中谷恒夫 岸 宏栄

10. 種々の条件下における血圧の変動 —信頼できる血圧値を得るために—

厚生連高岡病院看護科

○中村春枝 津雲睦美 浜井郁美  
安田節子 八田登し子 小杉美幸

11. 村に活力をあたえた農業者の健康管理

小杉農業改良普及所

○長谷川 静子

(座長 北川内科クリニック院長 北川鉄人 16:04~17:00)

12. 弄便の二症例 —看護の立場から—

医療法人 新川病院

○四家井 久 田上勝美 高木富子  
越山健二 永崎みのる子 平井美枝

13. アルコール症退院患者の追跡調査(第2報)

富山市民病院

○道野富夫 山野俊一 女川幸夫  
利波栄子 大村桂子 草野 亮

14. 当院における透析患者の現況 —社会復帰について—

厚生連高岡病院看護科

○高原 奈津子 増田幸子 城 礼子  
網 典子

15. ニュージーランドにおけるファームステイを体験して

富山県農村医学研究会

○大浦栄次 寺中正昭

# 役 員 名 簿

(昭和59年6月9日現在)

理 事			
氏	名	役	職
豊田	文一	金沢大学名誉教授	
佐藤	充紀	県医務課長	
守田	美典	県農産普及課長	
尾山	京三	県公衆衛生課長	
中川	秀幸	富山保健所長	
中田	慶子	福野保健所長	
渡辺	正男	富山医科薬科大学教授	
中藤	康俊	富山大学助教授	
越山	健二	全国国保医学会顧問	
石田	礼二	富山市民病院長	
長谷田	祐作	国立療養所富山病院長	
寺中	正昭	城端厚生病院長	
広瀬	龍夫	県医師会理事	
西能	正一郎	西能病院長	
北川	鉄人	北川内科クリニック院長	
広島	清一	厚生連高岡病院長	
小川	清忠	厚生連滑川病院長	
館野	政也	県立中央病院医療局長	
鈴木	邦雄	高岡市民病院副院長	
西出	啓二郎	厚生連高岡病院第1内科診療部長	
八木	信一	県農協中央会参事	
村上	紀義	県農協青年組織協議会委員長	
竹部	喜代子	県農協婦人組織協議会長	
跡治	順子	県経済連生活総合課課長	
豊本	清美	高岡市農協生活指導員班長	
監 事			
本松	多重雄	リハビリテーション専門病院開催準備事務局長	
	井昭治	高岡市農林部長	
顧 問			
中 沖	豊	富山県知事	
堀	健治	市 市会長	
清 水	美晴	町 町村会長	
本 多	幸男	医 医師会長	
入 山	文郎	厚 厚生部長	
横 沢	隼人	農 農業水産部長	
松 井	信勝	農 農協中央会長	
山 口	光弘	厚 厚生連会長	
滝 田	金藏	信 信連会長	
南 日	淳夫	経 経済連会長	
河 合	勇三郎	共 共済連会長	

## 富山県農村医学研究会

## 昭和58年度 収支決算書

自 昭和58年4月1日 ~ 至 昭和59年3月31日

(単位:円)

項	目	計 画	実 績	差引増減
会 費 収 入		150,000	133,000	△ 17,000
	会 費	150,000	133,000	△ 17,000
援 助 収 入		5,280,000	5,280,000	0
	助 成 金	1,800,000	1,800,000	0
	特 別 負 担 金	3,480,000	3,480,000	0
雑 収 入		34,534	125,794	91,260
	雑 収 入	34,534	125,794	91,260
前 期 繰 越		173,199	173,199	0
収 入 計		5,637,733	5,711,993	74,260
会 議 費		850,000	591,720	△ 258,280
	総 会 費	200,000	213,600	13,600
	役 員 会 費	450,000	257,340	△ 192,660
	専 門 委 員 会 費	150,000	55,960	△ 94,040
	編 集 委 員 会 費	50,000	64,820	14,820
事 業 費		4,230,000	4,322,889	92,889
	研 究 調 査 費	2,000,000	2,228,950	228,950
	研 究 集 会 費	450,000	323,484	△ 126,516
	会 誌 発 行 費	1,400,000	1,404,800	4,800
	通 信 費	130,000	130,230	230
	消 耗 品 費	150,000	203,225	53,225
	備 品 , 什 器	100,000	33,000	△ 67,000
旅 費 交 通 費		250,000	269,650	19,650
	旅 費 交 通 費	250,000	269,650	19,650
事 務 費		240,000	240,000	0
	事 務 費	240,000	240,000	0
雑 費		20,000	7,550	△ 12,450
	雑 費	20,000	7,550	△ 12,450
予 備 費		47,733	0	△ 47,733
	予 備 費	47,733	0	△ 47,733
支 出 計		5,637,733	5,432,609	△ 205,124
次 期 繰 越			279,384	279,384



## 昭和59年度事業計画書

昭和59年4月1日～昭和60年3月31日

### ① 事業方針

富山県内の農山村の実態および医療と保健に関するすべての問題を調査研究し、明るい健康な村づくりに寄与する。

### ② 運営にかかる事業計画

#### 事業内容

#### 1. 農村の職業性疾患の調査研究

農村の地域環境並びに農作業の特殊性に起因する健康障害の調査研究

#### 2. 農業災害の調査研究

農業機械の健康に及ぼす影響についての調査研究、特に騒音及び振動の影響に関する研究及び農業機械並びに農業機械以外による農業災害事故調査

#### 3. 農薬の生体における影響に関する調査研究

#### 4. 健康管理についての調査研究

農業従事者の健康状態の把握と保健指導

農業従事者の健康管理の調査研究

農業従事者の成人病実態調査とその対策に関する検討

#### 5. 農村における高齢者の社会医学的研究

#### 6. 農村の特殊疾患の調査研究

伝染病、風土病等の地域多発疾患の疫学的調査研究

#### 7. 農村における社会医学的研究

社会変動による農業従事者の健康に及ぼす影響についての調査研究、都市近郊農村の社会医学的研究

#### 8. 環境汚染と農村における健康障害についての調査研究

#### 9. 乳幼児並びに学童の健康調査及び対策

#### 10. 農村の健康会議、健康教室等の実施

#### 11. 研究会誌並びに必要な印刷物の発行

#### 12. 研究集会の参加及び開催

#### 13. その他目的達成に必要な事項

# 投 稿 規 定

- 募 集 原 稿** 農村医学の分野における独創的な研究および会員のたよりとします。
- 投 稿 の 資 格** 投稿者は原則として富山県農村医学研究会会員とします。
- 原 稿 の 送 り 先** 富山県農村医学研究会事務局宛（富山市新総曲輪2番21号 富山県厚生連内）  
投稿原稿の掲載選択順位は編集委員にご一任下さい。

## 論文原稿の形式

1. 本文は本会規定の原稿用紙に、口語体、平かな、新かなづかいで、できるだけ簡潔に横書して下さい。
2. 外人名、地名、その他の固有名詞、特別な化合物名などは、できるだけ原綴のまま（Pasteur, Protigmin等）とし、動植物名は日本名の次に学名（ローマ字 *Mocacus rhesus*, 山椒藻 *Salvinabatah*等）を記入する。計量にかんするものはメートル法に準拠し、次のような略号を用いる。メートルm、センチメートルcm、グラムg、キログラムkg等。
3. コンマ（,）ピリオド（.）コロンの（:）ゴジックの使用等に気をつけて下さい。
4. 図表は、そのまま製版できるように上質ケント紙または方眼紙に墨で、ていねいに書いて下さい。（図表は、特殊なものを除いては、出来あがり左右6.5cmに製版しますから、その2倍か3倍に書いて下さい。）図表の文字は、こちらで記入しますから、鉛筆で書いて下さい。
5. 写真は出来るだけ鮮明なものをお送り下さい。
6. 本文に挿入する図表、写真については、挿入場所を原稿の欄外に明記（朱記）して下さい。

**無 料 掲 載** 原稿用紙20枚（刷上がり5頁）までとします。ただし挿入附図、附表を含みます。

**有 料 掲 載** 超過頁の印刷代、附図、附表の製版代の実費は投稿者の負担とします。ただし刷上がり15頁を限度とし長篇の論文を5頁ずつ分割掲載することは認められません。

- 文 献**
1. 雑誌の場合著者名、標題名、雑誌名（雑誌指定の略号）、巻数（号数）、頁一頁、発行年月（昭52.5のごとく。）
  2. 単行本の場合 著者名：標題名、発行所、発行地、発行年月（必要ならば引用の個所の頁を最後に）

**別 刷** 別刷の部数や体裁などについてはある程度まで、実費をもってご希望に応じます。ただし別刷30部までは無料で投稿者に進呈、30部以上は実費をご負担願います。

## 編 集 後 記

情報化社会が一段と進展する中で、今年度も富山県農村医学研究会の地域に密接した活動の集約が、本研究会誌の中に十分に収められていると思う。農業の問題を中心としてその疫学的研究、農村検診活動の成果などが主体となっている。第2回、農村医学研究発表集会での要旨も全部、寄稿されている。なお、ニュージーランドでの国際農村医学会での越山先生らの発表例や、出席者の感想文も興味深い。60年度の企画はすでに実施されているが、農業の問題、農村と高齢者問題、肥満、農・漁村に於けるアルコールと肝臓病の問題などがテーマとしてあげられている。

投稿原稿が毎年多くなり、未集計や調査中のものもあるので、昭和60年度より研究会誌は年2回発刊される予定である。農業県である富山県民のための公的な研究会誌として一層充実したものになることを期待したい。(T, K)

編 集 委 員 越山 健二、長谷田祐作、北川 鉄人

---

富山県農村医学研究会誌 第16巻 昭和60年3月25日印刷・昭和60年3月31日発行

富山市新総曲輪2番21号・富山県厚生連内 電話 富山(0764)45-2307

編集、発行所 富山県農村医学研究会 事務局長 岩井 久 作

印刷所 株式会社チューエツ 富山市上赤江町 電話(0764)32-4171

---